貧困研究会

第１１回研究大会

共通論題　貧困と住宅　地域特性をいかした実践へ

2018 年 12 月 8 日（土）9 日（日）

新潟県立大学

12 月 8 日（土）　共通論題：貧困と住宅　地域特性をいかした実践へ

13:30～16:35 4101 講義室 （大学院棟）	「総論・問題提起」小澤　薫（新潟県立大学） 貧困と居住―政策・支援実践の今日的動向と論点 垣田裕介（大阪市立大学） 賃借人保証 －その意義とあり方― 遠藤研一郎（中央大学） 生活困窮者の生活基盤の確保の実践 雪井幸太郎（一般社団法人　ライフデザイン） 長野県内社協公益事業「長野県あんしん創造ねっと」 ―「入居保証・生活支援事業」による包括的支援の展開 山﨑博之（長野県社会福祉協議会） 全体討論 コメンテーター：渡辺潤（さいたま市生活保護等居宅移行・地域生活復帰定着支援事業／住宅ソーシャルワーカー）
16:45～17:45	年次総会
18:00～	懇親会　ぱれっと（福利厚生棟）

12 月 9 日（日）　自由論題　　（２会場で行います）

9:30～11:40		
会場1	1250 講義室 （1 号館 B 棟）	住居喪失した女性の貧困－一時生活自立支援事業の事例分析から 吉中季子（神奈川県立保健福祉大学） 北海道ひとり親調査から見る、ひとり親家庭における子育て ―きょうだい数と子どもの年齢の違いに着目して 熊谷良介（北海道大学院生） 母子世帯の母親のミドル期の生活実態に関する研究 張思銘（北海道大学院生） 生活時間と居住地、就労の選択―社会生活基本調査を用いた分析― 泉田信行（国立社会保障・人口問題研究所）
会場2	1254 講義室 （1 号館 B 棟）	貧困の「農村的」性格と福祉政策の課題 佐藤嘉夫（岩手県立大学）・浜岡政好（佛教大学）・ 小池隆生（専修大学） レジー・ド・カルチエと地域課題の解決 長谷川敦也（大阪市立大学院生） 障がい者支援における移行期の実態と課題―関係者への聞き取りと支援学校卒業生およびその保護者へのアンケート調査をもとに 川田　和子（大阪府立中津支援学校） 中国における貧困児童・生徒に対する「義務教育保障」の考察 陳　勝（北海道大学院生）

※ 会員以外の方でも参加できます。　　参加費：会員：無料　非会員：500 円
※ 要約筆記あり(予定）。
※ 参加される場合は、１１月末までにシンポジウム・懇親会・自由論題、それぞれへの参加の有無について事務局までご連絡ください。
詳細および最新情報は貧困研究会 HP(URL http://www.hinkonken.org)をご覧下さい。

お問い合わせ・参加申し込み先
貧困研究会事務局 e-mail taikai-entry[at]hinkonken.org（送信時には[at]を@に置き換えて下さい）

交通アクセス

新潟県立大学
〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬 471

JR 新潟駅から交通機関をご利用の場合は
□新潟駅万代口バスターミナル 11 番のりばから「大形線」に乗車
　「県立大学前」下車、徒歩 3 分　（所要時間約 25 分／片道 330 円）
　※「津島屋」行きに乗車の場合は「大形本町」下車、徒歩 8 分
□JR 白新線「大形駅」下車（所要時間約 10 分／片道 200 円）、徒歩約 15 分